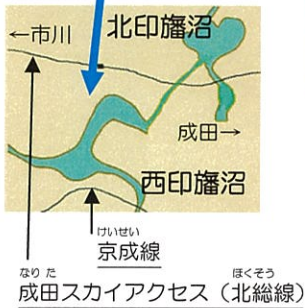


# (2) いんばぬま かい 印旛沼の開たく

つかむ



今の印旛沼の写真を見て、気づいたことを話し合いました。



西印旛沼のようす



北印旛沼のようす

〈写真：印旛沼流域水循環健全化会議 HP より〉

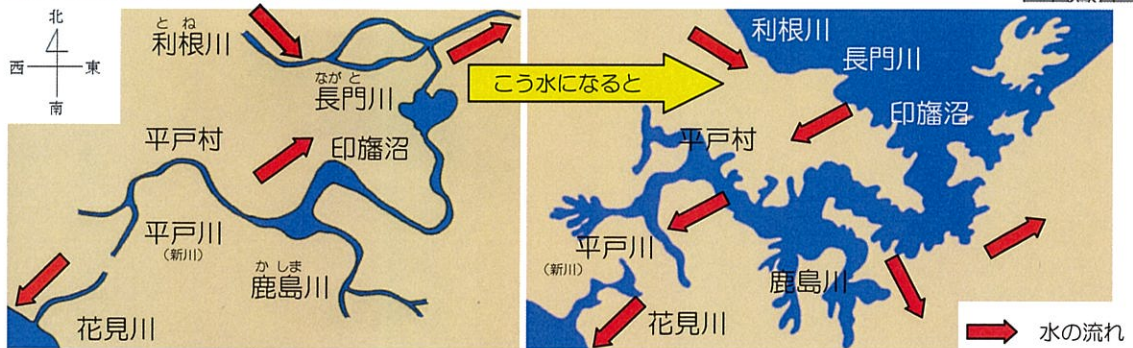
田んぼがきれいに整  
ばされてならんでいるね。



今の印旛沼は、きちんと整  
ばされています。



昔の印旛沼のようす (ふだん)



小屋が沼の水でしずんでいるよ。



水につかった小屋 (印西市立印旛歴史民俗資料館)

昔の印旛沼は大雨になると、利根川の水が逆  
流して、沼の水があふれてこう水になりました。  
そのため“あばれ沼”とよばれ、死んだ人  
もいたそうです。はやくみんなが安心してくら  
せるようにしたかったそうです。

昔の人たちは、大変だっ  
たんだな。どうやって、今のよ  
うになってきたのかな？



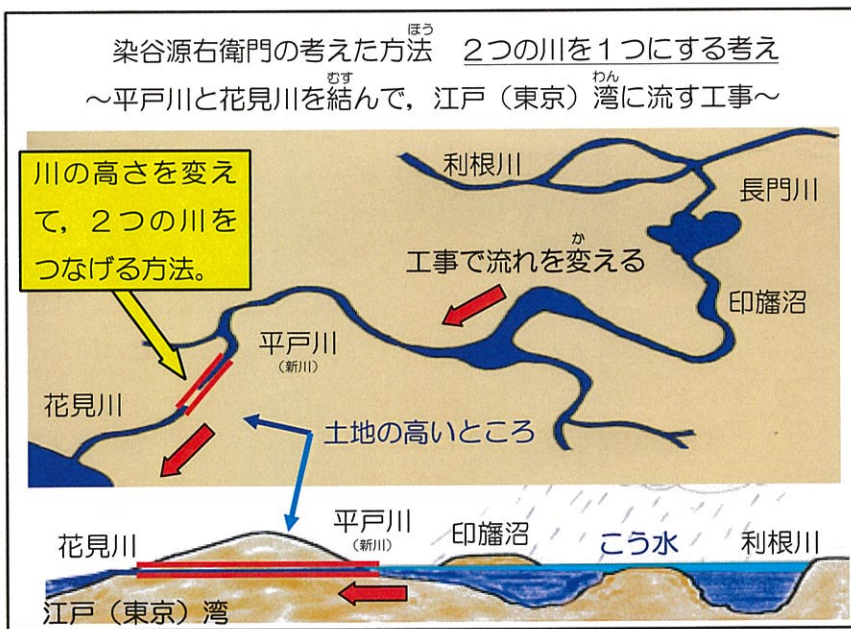
“あばれ沼” とよばれた印旛沼を、昔の人々はどのようにして、開たくしてきたのでしょうか。

## しらべよう・みてみよう

江戸時代，平戸村（今の八千代市）の名主で，染谷源右衛門という人がこう水をふせぐ方法を考えました。



染谷源右衛門  
（八千代市  
商工会議所作成）



### 名主（なぬし）

江戸時代，村をたんだした村のせきにん者（村長のような立場）

### 幕府（ばくふ）

武士を中心とした政治のしくみ



どのようにして工事を進めたのかな？

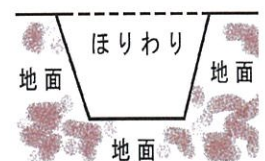
幕府からお金を出してもらい，足りない分は自分たちのお金を出して印旛沼の開たくに取り組みました。しかし，当時の工事は機械もなく，すべて人の力にたよっていました。

印旛沼のまわりの土はやわらかく，ほりわり工事をするとすぐにくずれてしまったそうです。



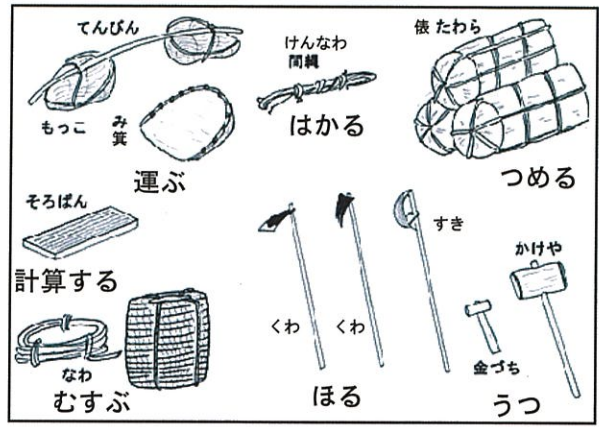
### ほりわり

地面をほって水を通した所↓





はたら 働いている人のようす「続保定記」



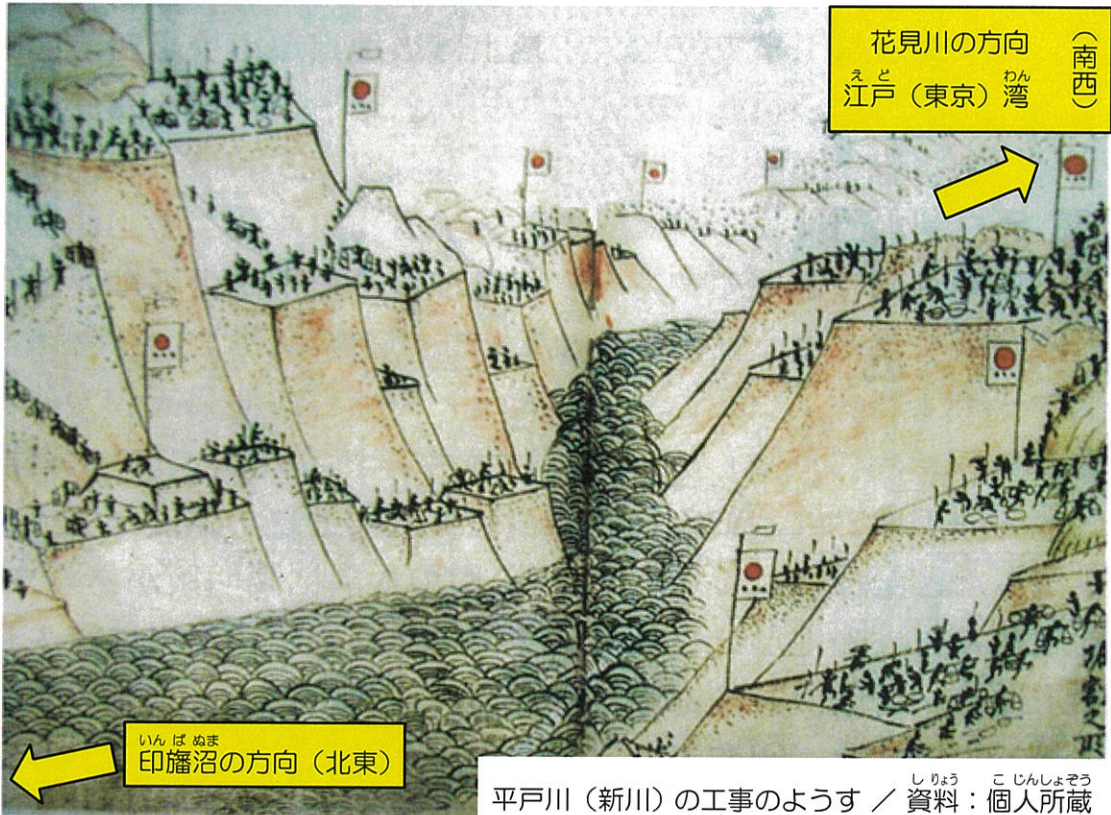
使われた道具



たくさんの人が働いているね。



ほりわりが見えるね。



3つの絵を見て、当時の工事のようすはどうだったのか考えてみましょう。

やがて働く人にはらうお金がなくなり、今度は源右衛門自身の田や畑を売りながら工事を進めました。  
しかし、とうとうお金がなくなってしまう、工事を中止にしないではいけなくなりました。



印旛沼の開たく年表

年代	ことがら	年代	ことがら
1621年 (元和7年)	利根川などの流れを変える。	1890年 (明治23年)	明治の前半の最大のこう水が起きる。
1724年 (享保9年)	平戸村(今の八千代市)の染谷源右衛門が工事を行った。	1898年 (明治31年)	千葉県知事が県営事業として、工事を計画する。
1726年 (享保11年)	染谷源右衛門のお金がなくなり工事が中止になった。	1946年 (昭和21年)	染谷源右衛門の考えをもとに、国(農林省)が国営事業として工事を始める(機械を使う)
1783年 (天明3年)	染谷源右衛門の考えをもとに、幕府の田沼意次が工事をしたが中止になった。		
1812年 (文化9年)	江戸時代の後半で最大のはんらんが起きる。	1969年 (昭和44年)	印旛沼の工事が完成する ※染谷源右衛門の苦勞が240年後に実った。
1843年 (天保14年)	幕府の水野忠邦が5つの藩に命じて工事をしたが中止になった。		

「印旛沼の開たく年表」を見て、気づいたことを発表しました。



いろいろな人たちが、源右衛門の考えた方法をもとに工事を進めたけど、なかなかうまくいかなかったんだね。



いろいろな人々が、長い年月をかけて、苦勞しながら工事をしたんだね。

昭和時代になって“機械”を使って工事をすすめたんだね。



八千代市立きょう土博物館の人の話

染谷源右衛門は、千葉県の誇るきょう土の偉人です。こう水を防ぐために、花見川と旧平戸川(新川)の2つの川を1つにするアイデアを考えた人と言われています。現在の印旛沼の姿は、源右衛門の考えが活かされており、源右衛門は、“印旛沼開削の祖”とも言える人で、地元の人からも親しまれています。

いんばぬま  
今の印旛沼のようす



印旛水門



印旛排水機場



昔は“あばれ沼”とよばれた印旛沼も、今は整ひされ、いろいろなところで利用され、安心して生活できるようになりました。



昔とくらべて、今はこう水もなく、安心してくらすことができるんだね。



花見川

げんざい  
現在の印旛沼はどのように整ひされているのでしょうか。



ポンプを使い、水を東京湾に流します。

しげん きこう そうごうかんり じょ  
水資源開発機構・千葉県用水総合管理所の人の話

現在の印旛沼は、大雨で利根川の水位があがり、印旛沼の水を排水できなくなった時は、利根川につながる印旛水門を使って逆流するのを防ぐようにしています。印旛沼の水位が下がらないような大雨の時は、大和田排水機場のポンプを動かし、花見川を通じて東京湾に排水します。これは源右衛門の考えを生かした方法です。

まとめよう・つたえよう・いかそう



わたしは<sup>そめや</sup>染谷源右衛門に  
手紙を書いたよ。

ぼくは<sup>ほうこく</sup>報告文を書いたよ。



染谷源右衛門さんへ  
4年〇組 ○〇〇〇

印旛沼の開たくの学習をして  
4年〇組 ○〇〇〇



ぼくは、新聞を作ったよ。

わたしは<sup>しばい</sup>紙芝居を作ったよ。



<b>染谷源右衛門新聞</b>		発行日〇年〇月〇日 4年〇組 ○〇〇〇	
あばれ沼と たたかった人々 .....	染谷源右衛門 の考えた方法 2つの川を1つ にする考え~ 平戸川と花見 川を結んで、江 戸(東京)わん に流す工事~	米は三年に一 度しかとれな い.....	.....
たいへんだった 工事 .....	<b>染谷源右衛門さんに インタビュー</b>	.....	.....

染谷源右衛門物語



染谷源右衛門さん以外にも、千  
葉県内の文化や地いきの発てんにつ  
くした人がたくさんいるんだね。

